

鹿児島市訪問団歓迎レセプション



12月1日、鹿児島市からマイアミ市への姉妹都市訪問団の歓迎レセプションを総領事公邸で開催しました。当館は、例年このレセプションを開催しています。

セレモニー開始に当たり、荻野首席領事から、訪問団中学生に対し多くの人の協力を得て今回の訪問が実現したことを忘れずに日程を過ごして欲しい旨述べました。また、ホストファミリー、姉妹都市委員会など訪問団一行を迎え入れた関係者に謝意を述べるとともに、11月にマイアミ市長が鹿児島市を市長として初めて訪問し歓迎されたことを紹介しました。来賓挨拶として、レガラード・マイアミ市長が、昨日の中学生のマイアミ市役所訪問にお礼を述べるとともに、25年間続いているこの姉妹都市交流が、今後も引き続きよりよき関係を築き続けるものとなるようにしていきたい旨述べました。

その後、マイアミ姉妹都市実行委員長のホセ氏が乾杯をし、訪問団の中学生が各々自己紹介を行い、「おはら節」のパフォーマンス等を実演しました。

懇談の中で、鹿児島の中学生はガリバー、パルメット、テラなどの学校訪問で他の生徒達との交流ができて、よい経験になったと話していました。中にはマイアミを離れることに涙を流す生徒さえいました。

ホストファミリーからは、鹿児島の中学生と貴重な体験を共有できてよかったとの声がありました。また、マイアミ姉妹都市実行委員会メンバーからは、このレセプション開催に対して改めて感謝の声が寄せられました。

今後も、当館はこのマイアミ・鹿児島姉妹都市交流のように、姉妹都市交流を支援していきたいと考えております。